

令和8年度 大学院予約採用

日本学生支援機構奨学金
申込ガイド

日本学生支援機構奨学金を申し込む方へ

ステップ1

奨学金の種類や制度を理解しましょう
(申込ガイド3ページ～19ページ)

ステップ2

奨学金の申込み方法を理解しましょう
(申込ガイド20ページ～30ページ)
申込みに必要な書類を入手する必要があります

ステップ3

実際に奨学金の申込みをしましょう
不明点は奨学金案内等を確認し、それでもわからない場合は大学へ問合せてください。

奨学金の種類や制度について

「予約採用」とは



大学院進学前に申し込み、希望する奨学金の審査を行います。

予約採用で奨学金の「採用候補者」に決定した方は、**大学院進学後に「進学届」の提出を行う(※)**ことで正式に奨学生として採用されます。

予約採用で申し込めなかった場合は、大学院進学後「在学採用」で奨学金の申込みをしてください。

「在学採用」と「予約採用」では、奨学金の初回振込月が異なりますが、4月分からの貸与ができる点で変わりはありません。
(予約採用のほうが振込が早く始まります)

ただし、修士課程の「特に優れた業績による返還免除内定制度」に申請を希望する方は、必ず今回の「予約採用」で申込みをしてください。(スライド19頁参照)

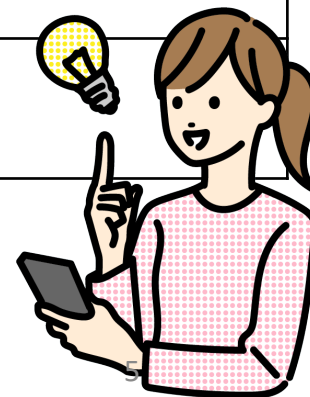
※「進学届」はインターネット上で入力(提出)します。

奨学金の種類

大学院生が利用できる日本学生支援機構奨学金(貸与型のみ)

		第一種奨学金	第二種奨学金	授業料後払い制度
貸与額	修士・博士前期・ 専門職学位課程	月額5万、8万8千円 から選択	月額5万、8万、10万、 13万、15万円 から選択	①授業料支援金:在籍中の授業料 相当額について貸与を受ける
	博士後期・ 医博士課程	月額8万、12万2千円 から選択		②生活費奨学金: 月額0円、2万円、4万円から選択
利 子		なし	あり	なし
特に優れた業績による 返還免除		あり	なし	あり

どの奨学金を利用するか決めましょう！

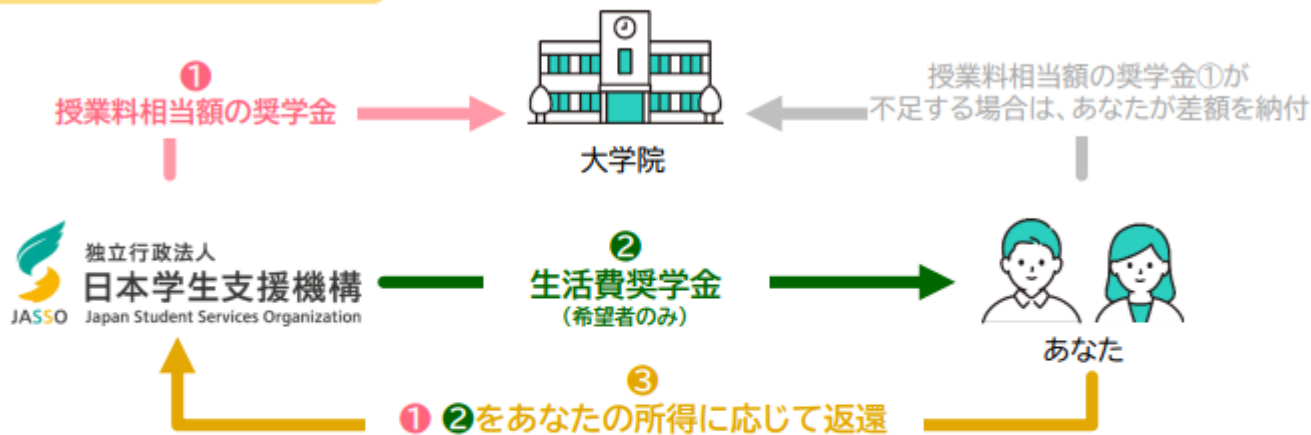


授業料後払い制度について(1)

授業料後払い制度は、第一種奨学金の一形態であり、貸与型の奨学金です。

学生に代わり、日本学生支援機構が授業料を大学へ振り込み、「機構が振り込んだ授業料相当額」＝「学生の貸与する額」となります。

「後払い」の仕組み



- **授業料相当額の奨学金①をそのまま授業料に充てる**ことができ、さらに**生活費奨学金②を毎月受け取れる**新たな制度です。
- 授業料相当額の奨学金①は学校に直接振り込まれ※1、授業料のためにまとまった資金を用意する負担を減らせます。
- **貸与終了後、所得に応じた月額での返還③が必要です(無利子)。**

- ✓ 保証制度は必ず「機関保証」となり、「保証料」が発生します。
→返還する際に保証料分も返還が必要
- ✓ 課程修了後、所得に応じて返還します。
- ✓ 貸与終了時には第一種奨学金と同様に、「特に優れた業績による返還免除」を申請することができます。
- ✓ 後払い制度と第一種奨学金は同時に利用することができません。

※修士・博士前期・専門職学位課程の学生のみ利用できる制度です。

授業料後払い制度について(2)

□ 授業料後払い制度は、大学院の授業料免除制度と同時に利用することが可能です。

授業料後払い制度に採用され、また授業料免除に採用された場合は、減免額を差し引いてあなたが負担しなければならない授業料を貸与することになります。

例) 令和8年度前期に後払い制度に採用された者が、令和8年度前・後期ともに授業料の半額免除に採用され、令和9年度前・後期は授業料免除不採用だった というケースでは
後払い制度の貸与額 = 2年間の授業料相当額803,700円 + 保証料(+生活費奨学金)

なお大学院の授業料免除は、入学後に申請をしてください(一次申請: UNIPA、二次申請: 書類提出)

貸与奨学金の選考基準(1)

学力基準

大学が判定し、機構へ推薦します。

区分	「第一種奨学金又は授業料後払い制度」・「併用貸与」	「第二種奨学金のみ」
修士課程相当	大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができると認められること。	①又は②のいずれかに該当すること。 ① 大学等・大学院における成績が優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができると認められること。 ② 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。
博士課程相当	大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると認められること。	①又は②のいずれかに該当すること。 ① 大学等・大学院における成績が優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができると認められること。 ② 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。

家計基準

マイナンバー等で取得した本人及び配偶者の住民税情報を用いて機構が判定します。

予約採用の場合、**2024年1月～12月の収入に基づく2025年度住民税情報**により判定されます。

①修士課程相当

希望する奨学金	家計基準
第一種奨学金又は授業料後払い制度	申込者本人及び配偶者の貸与額算定基準額の合計が66,400円以下であること
第二種奨学金	申込者本人及び配偶者の貸与額算定基準額の合計が155,300円以下であること
併用貸与 (第一種奨学金又は授業料後払い制度・第二種奨学金)	申込者本人及び配偶者の貸与額算定基準額の合計が61,600円以下であること

②博士課程相当

希望する奨学金	家計基準
第一種奨学金	申込者本人及び配偶者の貸与額算定基準額の合計が80,100円以下であること
第二種奨学金	申込者本人及び配偶者の貸与額算定基準額の合計が229,800円以下であること
併用貸与 (第一種奨学金・第二種奨学金)	申込者本人及び配偶者の貸与額算定基準額の合計が66,400円以下であること

※ 貸与額算定基準額 = (課税標準額) × 6% - (市町村住民税調整控除額) (100円未満切り捨て)

貸与奨学金の選考基準(2)

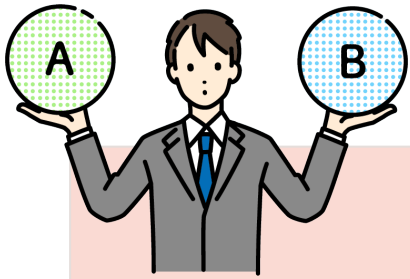
家計基準

「進学前離職の特例措置」について

通常2024年1月～12月の所得に基づき家計判定を行います。が、大学院に入学する日の1年前から前日までに離職または無給休職した場合に、申込者の所得を選考に参入しない特例措置があります。

貸与奨学金案内(大学院予約)p.34 を必ず確認し、特例措置の適用を希望する方はスカラネットで入力時に該当項目を選択するとともに、大学へ必要書類を提出してください。

貸与奨学金申込時に自分で選択する事項



貸与奨学金は、「返還方式」や「保証制度」など、
自分で選ぶ事項があります。

「予約採用」の申込時に選択しますが、
「進学届」を入力する際に変更できる事項もあります。

また採用後(進学届入力後)には変更できない事項もありますので、
今のうちに制度を理解しておいてください。

「貸与奨学金案内(大学院予約)」37～40ページ

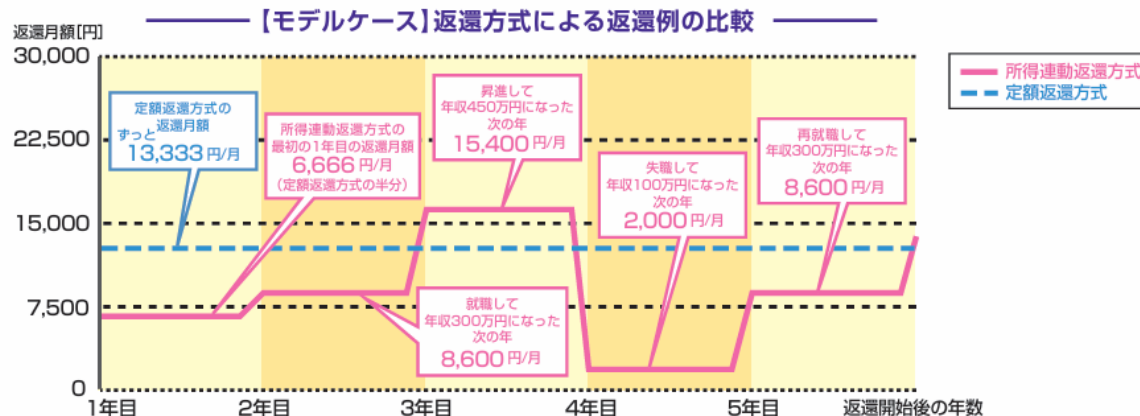
第一種奨学金の返還方式

第一種奨学金を利用する人は、「返還方式」を選んでください。
【貸与奨学金案内(大学院予約)p.13～15】

② 返還方式

第一種奨学金を利用する人は、「所得連動返還方式」と「定額返還方式」のいずれかを選択します。
第二種奨学金を利用する人は「定額返還方式」のみです。

所得連動返還方式(第一種奨学金のみ)	定額返還方式
毎月の返還額が前年の所得等に応じて決定される方式 ※保証制度は「機関保証」、割賦方法は「月賦返還」となります。 【年収に応じた返還額の目安例】 年収300万円 ⇒ 約8,600円/月で返還 年収450万円 ⇒ 約15,400円/月で返還 ※返還者本人に子どもがいる場合、1人につき月額から約2,400円を控除 ●所得連動返還方式の詳細 https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/houhou/henkan_hoshiki/shotokurendo/index.html	毎月の返還額が貸与総額(借入金額)に応じて決定される方式 【貸与総額に応じた返還額の例】 第一種奨学金で月額5万円の貸与を4年間受ける場合(総額240万円)、約13,333円(15年間)を毎月返還



- ✓ 貸与終了後の月々の返還額について、一定とするか、所得に応じて変動する額とするかを選びます。
- ✓ 「所得連動返還方式」を選択する場合の保証制度は必ず「機関保証」となり、「人的保証」は選べません
(機関保証についてはスライド14頁を参照)
- ✓ 貸与中はどちらへの変更も可能。

※「第二種奨学金」は、定額返還方式のみです。

貸与奨学金(第二種奨学金)の利率

第二種奨学金・入学時特別増額貸与奨学金を利用する人は、
「利率の算定方式」を選んでください。
【貸与奨学金案内(大学院予約)p.11～12】

④ 利率の算定方法(第二種奨学金および入学時特別増額貸与奨学金)

第二種奨学金や入学時特別増額貸与奨学金を利用する人は、「利率固定方式」と「利率見直し方式」のいずれかを選択します。

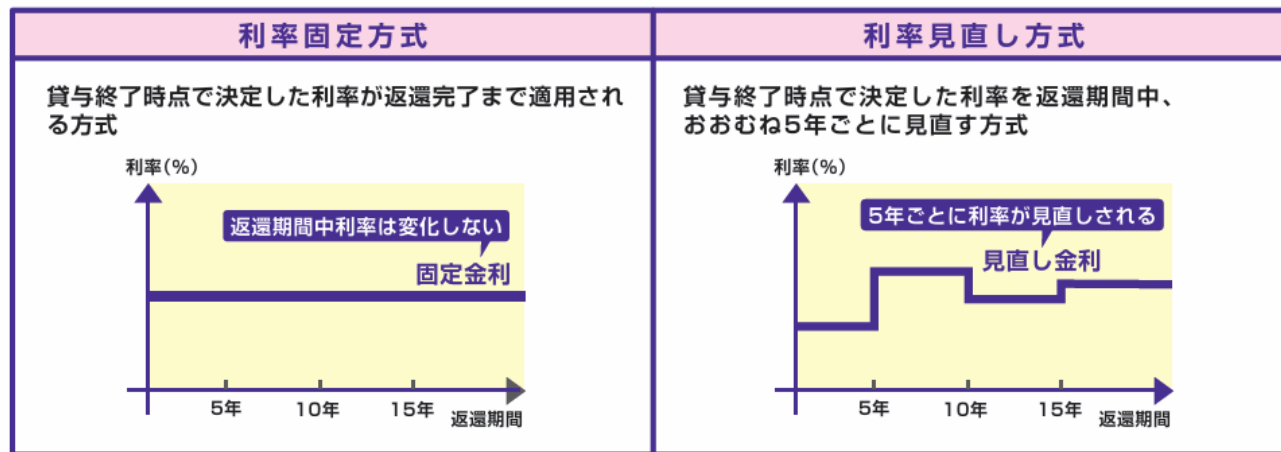
※ 入学時特別増額貸与奨学金は、申込時に選択した算定方法から変更することはできません。

● 実際に適用されている利率

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/riritsu/2007ikou.html



39



- ✓ 利率を固定とするか、おおむね5年ごとに見直されるものとするかを選びます。
- ✓ 貸与終了年度の一定期間まで変更可能です。
- ✓ 過去の利率がJASSOのHPに掲載されているので、参照してください。

※いずれの方式も利率の上限は年3.0%です。

貸与奨学金の保証制度(1)

第一種・第二種奨学金を利用する人は、「保証制度」を選んでください。
【貸与奨学金案内(大学院予約)p.18～22】

機関保証	保証機関(公益財団法人日本国際教育支援協会)に一定の保証料を支払い、連帯保証を受ける制度です。 毎月の奨学金から保証料を差し引いて振り込みます。 保証料の月額が貸与月額、貸与期間及び返還期間等によって決まるため、奨学生採用時にお知らせします。 なお、第一種奨学金と第二種奨学金の保証料は異なります。 ● 第一種奨学金の保証料  https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_1shu/hosho/kan_hosho/hoshoryo.html  36 ● 第二種奨学金の保証料 35  https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/hosho/kan_hosho/hoshoryo.html 【差し引かれる保証料の例(2024年度採用者の場合)】 第二種奨学金で月額8万円の貸与を4年間受ける場合、毎月4,397円の保証料が貸与額(8万円)から差し引かれます。  あなたが返還を一定期間延滞したときは、保証機関があなたに代わり機構へ返済しますが、その後、あなたは保証機関へ返済する必要があります。
人的保証	要件に合う人に連帯保証人(父や母)および保証人(おじやおば等)になってもらい、保証を受ける制度です。  ● 人的保証制度(連帯保証人や保証人の要件を含む) https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_1shu/hosho/jinteki_hosho.html  37  あなたが返還を一定期間延滞したときは、機構から連帯保証人および保証人にも、延滞のお知らせや返還の請求・督促等が行われます。

※「授業料後払い制度」は必ず「機関保証」となります。

(注意)
第一種奨学金の返還方式を
「所得連動返還方式」にすると、
必ず保証制度は「機関保証」となります。

貸与奨学金の保証制度(2)

機関保証

- ✓ 機関保証の保証料は、毎月の奨学金から差し引き
- ✓ 一度支払った保証料は、原則返ってこない
- ✓ 学生本人に返還義務があることには変わらない
- ✓ 「機関保証」→「人的保証」には変更できない！
- ✓ 「所得連動返還方式」は必ず機関保証となる

参考1 機関保証制度の保証料 (目安)

最新の情報及び下表の記載例以外の場合については、日本学生支援機構のホームページでご確認ください。



(1) 第一種奨学金

区分	貸与月額	貸与期間	貸与総額	返還回数	保証料月額
修士・博士前期課程	50,000円	24月	1,200,000円	144月	1,517円
専門職大学院の課程(2年課程)	88,000円		2,112,000円	168月	3,054円
専門職大学院の課程(3年課程)	50,000円	36月	1,800,000円	156月	1,602円
	88,000円		3,168,000円	216月	2,792円
博士・博士後期課程	80,000円	36月	2,880,000円	216月	
	122,000円		4,392,000円		
博士医・歯・薬・獣医学課程	80,000円	48月	3,840,000円	288月	
	122,000円		5,856,000円		

(例)

貸与月額50,000円－保証料月額1,517円
＝毎月の振込額は48,483円

貸与奨学金の保証制度(3)

人的保証

- ✓ 採用後(進学届入力後)に、印鑑登録証明書や収入に関する証明書類の提出が必要となります

	連帯保証人	保証人
選任できる人	原則、父母	原則、おじ・おば・ 兄弟姉妹
採用後「返還誓約書」提出 時に必要となる書類	・印鑑登録証明書 ・収入に関する証明書 (源泉徴収票、所得証明書など)	印鑑登録証明書

「連帯保証人・保証人の選任条件の例外」について貸与奨学金案内(大学院予約)p.20～22参照。
例外にあたる方を選任する際は、資産等に関する証明書類の提出が求められることに注意。

貸与奨学金の返還シミュレーション



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

シミュレーション・メニュー

奨学金は
いくら必要かな？

奨学金貸与・返還
シミュレーション

返還のことを
考えてみよう！

いくら借りたらいくら返すのか
シミュレーションができます。

日本学生支援機構の貸与奨学金は、
在学中に借りた奨学金を卒業後に毎月返還していく制度です。
「いくら奨学金を借りればいいのか？」
「毎月いくら返還していくことになるんだろう？」
考えながらシミュレーションしてみましょう。

開始

※第一種奨学金（無利息）は、収入に応じた月額で返還していく
「所得連動返還方式」を選択することができます。
▶「[所得連動返還方式](#)」の概要は[こちら](#)

独立行政法人日本学生支援機構 Copyright © JASSO. All rights reserved.

貸与月額をいくらにするのか、第二種奨学金の利率、第一種奨学金の返還方式 を検討する際、貸与終了後の返還がどのようなになるのかを具体的に考えてみることをおすすめします。

(6) 月賦返還の例

第一種奨学金

◆第一種奨学金 2026年度大学院入学者

区分	貸与月額	貸与月数	返還総額	定額返還方式		所得連動返還方式
				月賦返還額	返還回数（期間）	
修士課程	50,000円	24か月	1,200,000円	8,333円	144回（12年）	貸与終了後のあなたの収入に応じて返還月額・返還回数が変わります。 返還月額＝「課税対象所得×9％」÷12 （1円未満の端数は切り捨て） （子ども1人につき33万円を課税対象所得から控除します）
		36か月	1,800,000円	11,538円	156回（13年）	
	88,000円	24か月	2,112,000円	12,571円	168回（14年）	
		36か月	3,168,000円	14,666円	216回（18年）	
博士課程	80,000円	36か月	2,880,000円	15,000円	192回（16年）	
	122,000円	48か月	3,840,000円	16,000円	240回（20年）	
		36か月	4,392,000円	18,300円	240回（20年）	
		48か月	5,856,000円	24,400円	240回（20年）	

※授業料後払い制度は所得連動返還方式のみです。

第二種奨学金（4月から貸与を始める場合）

●定額返還方式の例

◆第二種奨学金

貸与月額	貸与月数	貸与総額	《参考》利率1.712%（注1）の場合		返還回数（期間）
			返還総額 （元金＋利子）	月賦返還額	
50,000円	24か月	1,200,000円	1,338,343円	9,293円	144回（12年）
	36か月	1,800,000円	2,024,049円	12,974円	156回（13年）
	48か月	2,400,000円	2,743,117円	15,238円	180回（15年）

✓ JASSO「奨学金貸与・返還シミュレーション」のサイトを活用してみてください

16

貸与奨学金の採用後

採用後の留意事項

✓ 継続願の提出(12月～1月)

インターネット(スカラネット・パーソナル)で、継続の有無などを報告

✓ 適格認定(学業)

継続願の内容に基づき、学年末ごとに大学で学業成績(修得単位数、評定平均)を確認します。学業不振の場合は、奨学金が廃止される。

⇒支援が続くように学業に励んでください！

特に優れた業績による返還免除(第一種・授業料後払い)

【業績免除】

貸与が終了する年度に申請し、機構に「特に優れた業績を挙げた」と認定されると、大学院における貸与額の全額または半額の返還が免除される制度です。
大学から機構へ推薦できる人数には限りがあります。

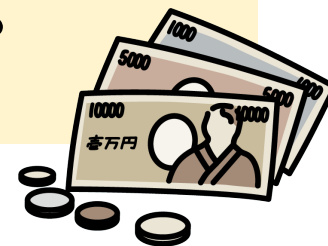
【教員免除】

特に優れた業績を挙げたと認められ、かつ教職大学院を修了のうえで教員採用選考試験に合格し、正規教員として採用となった場合、全額免除となります。
返還免除認定される人数に上限はありません。

- ✓ 各研究科で業績評価基準(どのような業績をどの程度評価するかの基準)を定めており、三重大学奨学金HPで公開しています。

<https://www.mie-u.ac.jp/life/support/syougaku/inuse-menjo.html>

- ✓ 業績評価基準は毎年見直されますので、現在の基準があなたの返還免除申請時に適用されるとは限りませんが、どのような業績を上げる必要があるのか、参考に確認してみてください。



特に優れた業績による返還免除の「内定制度」について(修士課程)

- 貸与終了時に認定する「特に優れた業績による返還免除」について、**修士・博士前期課程に進学する前に申請し**、認定された場合「返還免除者として内定」する制度です。
- 内定者となった人も貸与終了時に「特に優れた業績による返還免除制度」への申請が必要です。貸与終了時の機構への推薦順位により、全額免除となるか半額免除となるかが変わります。

【対象要件】

- ①大学学部等において「**高等教育の修学支援新制度**」を利用していること(※)又は非課税世帯であること
※支援区分が「**第Ⅰ～Ⅳ区分**」、「**多子世帯**」いずれかの者
- ② 科学技術イノベーション創出に寄与する分野(情報・AI、量子、マテリアル等)又は大学の強みや地域の強み等を生かした分野への進学を希望していること
- ③ 将来上記②の分野における研究能力又は高高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること

◆要件の詳細や申請方法等は、内定制度の募集案内を確認してください。(10月上旬にHPを更新予定)
三重大学奨学金HP <https://www.mie-u.ac.jp/life/support/syougaku/inuse-menjo.html>

- ✓ 内定制度へ申請することができるのは、申請時点で修士・博士前期課程に合格しており本学に入学する意志のある学生とします。本学では、専門職学位課程進学者の内定制度募集はありません。
- ✓ 内定者は、2年次への進級時に中間評価を行います。

奨学金の申込方法

申込方法 ー手順① 申込に関する書類の入手ー

まずは、申込に必要な書類を学生支援チームへ取りにきてください。

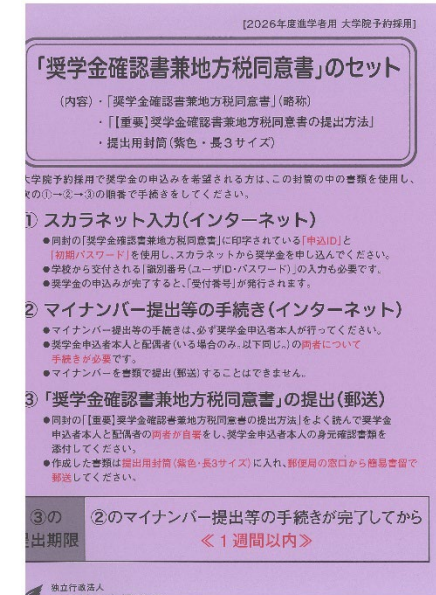
1. 「奨学金確認書兼地方税同意書」のセット(全員)
2. 奨学金案内ダイジェスト・スカラネット入力下書き用紙

1. は全員が必要です。
2. はHPからダウンロードも可能ですので、必要な方は持ち帰ってください。

※窓口では「令和7年度二次採用」の書類も配付中のため書類を間違えないように注意してください

他大学在学学生など、窓口に取りに来られない方は、請求用紙と返信用封筒を用意し学生支援チームへお送りください。
郵送での資料請求方法は奨学金HPを確認してください。

<https://www.mie-u.ac.jp/life/support/syougaku/application-shinki.html>



学生支援チームの窓口
置いてあります。
1部ずつ持って行って
ください。

申込方法 ー手順② 事前申請フォームへの入力ー

10月10日(金)まで

次に、「事前申請フォーム」へ入力をしてください。

URL:<https://forms.office.com/r/DqQdKxmudU>

現時点での奨学金の希望を入力しますが、実際に「スカラネット」へ入力する際に希望する奨学金を変更しても大丈夫です。



事前申請フォームに入力すると「スカラネット」入力に必要な「**識別番号**」がメールで送信されるので、控えてください。



申込方法 ー手順③ スカラネット入力下書き用紙の記入ー

続いて、「スカラネット入力下書き用紙」を記入してください。

下書き用紙とは何？

スカラネット(奨学金申込のための専用サイト)へ入力する質問や選択肢が掲載されている用紙です。

下書き用紙は書かないとダメ？

あらかじめ用意しておかないと誤入力の原因となりますので、必ず記入してからスカラネット入力をしてください。

「スカラネット入力下書き用紙記入例」(別資料)も確認してください。

三重大学生在学生は、下書き用紙の記入箇所を示したり奨学金用語を解説する「三重大学チャットボット」も活用してください。

三重大学 JASSO奨学金申請
FAQチャットボット
(三重大学生のみ利用可能)



チャットボットは「学籍番号@m.mie-u.ac.jp」、PWは「統一アカウントのパスワード」でログインが必要

※AIは誤った回答を返すこともありますので、疑義がある場合はその他資料を確認してください

申込方法 ー手順⑤ スカラネットへの入力(1)ー

10月14日(火)まで

「スカラネット下書き用紙」の記入が完了したら、その内容を「スカラネット」で入力をしてください。

スカラネットURL

<https://www.sas.jasso.go.jp/scholarnet/>

貸与奨学金案内(大学院予約)p.26～33の入力手順を見ながら

- ・奨学金申込
- ・マイナンバー(個人番号)を入力する

マイナンバー未提出だと選考が進みません

「スカラネット」をインターネット検索をすると、「スカラネット・パーソナル」の画面に誤って進むことがあります。「スカラネット・パーソナル」は奨学金採用後のサイトであり、新規申込はできませんので、ログイン画面に注意してください。



スカラネット画面

奨学金を希望する方へ

画面の指示にしっかりと正しく記入してください。
疑問な点や不明な点は学校に問合わせてください。
スカラネットの利用時間は午前8時から午前1時までです。

※ 申込入力中に1つの画面で30分を過ぎると自動的にタイムアウトとなり、最初からやり直しとなりますので気を付けてください。

※ 奨学金申込みのためにスカラネットに初めてログインする際はメールアドレスの登録が必要になります。
迷惑メール設定をしている場合、認証メールが届かない可能性があります。事前に日本学生支援機構(jas@ses.jasso.go.jp)からのメールを受信できるように設定を変更してください。

ご提供いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む。)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む。)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。
機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

1日

日本学生支援機構

入金のためのスカラネットに初めてログインされる方は「○奨学金の新規申込・進学届の提出」をクリックしてください。

奨学金の新規申込・進学届の提出

ログイン(アカウント情報登録済の人)

申込方法 ー手順⑤ スカラネットへの入力(2)ー

マイナンバーの提出(入力)について

- ✓ 日本学生支援機構が、マイナンバー(個人番号)を利用して、あなたと配偶者の住民税情報を取得します
- ✓ マイナンバーは、奨学金の申込内容を入力したあと、引き続きスカラネットへ入力してください
- ✓ **マイナンバーカードを作成しているかどうか、ではありません。** マイナンバー(個人番号)がわからない場合は、マイナンバーが記載された住民票の写しなどを発行するとマイナンバーを確認することができます。

申込方法 ー手順⑤ スカラネットへの入力(3)ー

スカラネットの入力後は・・・



入力した内容を必ず確認してください！！

スカラネットの確認画面をスクリーンショットにとるなどして、正しく入力されているか確かめる！



誤入力により生じた不利益について、大学では責任を負いかねます。

スカラネットの入力完了後、学生はデータを修正することができません。
修正が必要な場合は、学生支援チームへ早急に連絡してください。

申込方法 ー手順⑤ スカラネットへの入力(4)ー

☒よくある誤入力

マイナンバーを提出できるのに、「マイナンバーを提出できない」と回答している

→マイナンバーカードを持っているかどうかではありません。マイナンバー(個人番号)がわかり、JASSOへ情報提供できる場合は「マイナンバーを提出できる」を選択してください。

誤って「マイナンバーを提出できない」を選択した場合は、新しいIDで申込を最初からやり直す必要があるため、大学へ申し出てください。

個人番号が分からない方は、個人番号が記載された住民票を取得するなどして確認してください。

申込方法 ー手順⑤ スカラネットへの入力(5)ー

スカラネット入力後の画面

独立行政法人 日本学生支援機構
IASIO Japan Student Services Organization

Scholar Net - Scholarship application
スカラネット - 奨学金申込

申込内容の確認

あなたの申込情報は以下の通りです。

メインメニューに戻る場合は、下の「メインメニューへ戻る」ボタンを押してください。

メインメニューへ戻る

受付番号	10999001-204-00009
同意事項の確認	規定等を確認し、同意しました
「奨学金申込書兼地方税関係書」に印字されている申込ID	ZDXX123456

① - あなたの氏名・協約情報

あなたの氏名（漢字）	機構 太郎
あなたの氏名（カナ）	キコウ タロウ
誓約日	20XX年4月1日
生年月日	20XX年（平成XX年）7月7日
国籍	日本国籍

② - 奨学金申込情報

1. 高等教育の修学支援新制度の希望有無	希望します
2. 奨与奨学金の希望有無	希望します
3. 希望する奨与奨学金	第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
現在の奨学生番号	

③ - あなたの在学情報

1. (1) 大学/学校名	学生支援大学
---------------	--------

奨学金の申込(入力)が完了したら、申込内容の確認画面が表示されるため、印刷やスクリーンショットを撮るなどしてよく確認してください。

独立行政法人 日本学生支援機構
IASIO Japan Student Services Organization

Scholar Net - Scholarship application
スカラネット - 奨学金申込

メインメニュー

あなたは 機構 学 さんですね。

お知らせ
現在お知らせメッセージはありません。

奨学金の申込
奨学金申込みは完了しています。
申込内容を確認する場合は、下の「申込内容の確認」ボタンを押してください。

申込状況
現在の申込状況 申込済
詳細
スカラネットでの申込みは完了しています。
受付番号：10999000-XXX-XXXXX

個人番号（マイナンバー）の提出等
必ず下の「個人番号（マイナンバー）の提出等」ボタンから個人番号提出等の手続きをしてください。「未提出」の表示のままでと選考ができません。

パスワード・メールアドレスの変更
スカラネットログイン時のパスワード・メールアドレスを変更する場合は、下の「パスワード・メールアドレスの変更」ボタンを押してください。

ログアウト
ログアウトする場合は、下の「ログアウト」ボタンを押してください。

提出対象者 個人番号（マイナンバー）提出状況

① 申込者本人	提出済
配偶者	提出済
② 個人番号（マイナンバー）の提出等	

選考が完了すると「選考完了」と表示され詳細が確認できます。

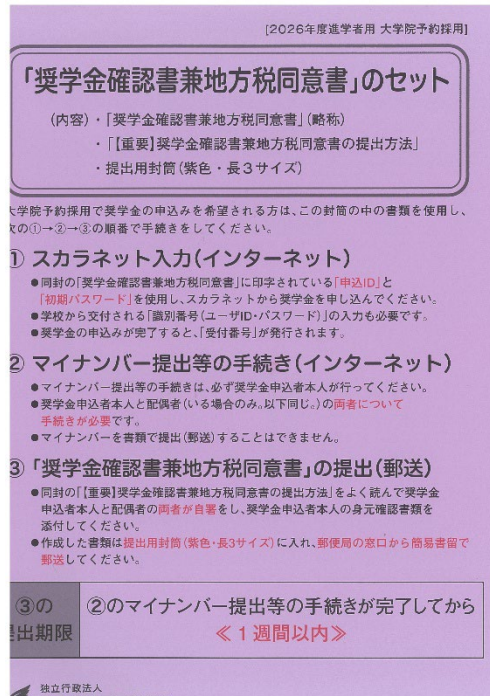
個人番号を提出したあとは①の提出状況が「提出済」になっていることを確認してください。

入力した情報の変更や不備により個人番号の再提出が必要となった場合は、「未提出(人物変更)」や「未提出(要再提出)」などの表示に変更されます。その場合再度スカラネットへログインし個人番号の提出を行ってください。

申込方法 ー手順⑥「奨学金確認書兼地方税同意書」の提出ー

入力後は、「奨学金確認書兼地方税同意書」を郵送してください。

スカラネット入力後、1週間以内に郵送



✓ 日本学生支援機構があなた・配偶者の住民税情報を利用することや奨学金の返還に係る個人情報情報の取扱い等について同意するものです

✓ 同封されている「提出方法」をよく読んで作成すること

✓ 郵便局の窓口にて「簡易書留」で日本学生支援機構へ郵送すること(大学への提出は不要)

三重大大学の学生証は、身元確認書類として認められません！(生年月日の記載がないため)
ほかの書類を用意してください

申込方法 ー手順⑦ 大学への書類提出が必要な場合ー

次の場合は、大学への書類提出が必要です。
スカラネット入力、奨学金確認書兼地方税同意書の郵送後、
学生支援チームへ指定された書類を提出してください。

10月14日(火)まで

該当者	提出書類
外国籍の方	在留カード、特別永住者証明書いずれかのコピー(表・裏とも) ※在留資格が「家族滞在」の方は、上記に加え「出入国記録の写し」(原本)も必要です。
他大学(院)出身の1年次	出身校の学業成績証明書
「進学前離職の特例措置」の適用を希望する者 ※貸与奨学金案内(大学院予約)p.34を確認すること	「以下①～⑤いずれかを提出。 ① 会社発行の離職(退職)証明書 ② 雇用保険被保険者離職票(写し) ③ 雇用保険受給資格者証(写し) ④ 退職(離職)日の記載がある源泉徴収票(写し) ⑤ 休職日の記載がある休職証明書(無給であることがわかるもの)
マイナンバーを提出しない場合	マイナンバーに代わる提出書類及びその必要書類

その他、申請内容を大学が確認して、必要書類の提出を指示する場合があります

提出先:総合研究棟Ⅱ 1階 1番窓口 学務部学生支援チーム(平日9時～17時)

申込後の流れ

申込後の流れ(1)

奨学金の申込

審査・選考



申請結果の通知

- ✓ スカラネットの入力内容などについて、大学から学生に問合せることがあります。**申込後も、結果が判明するまでは大学からのメールを見落とさないように十分注意してください。**
- ✓ 日本学生支援機構(マイナンバー提出専用コールセンター)からの電話や郵便物があつた場合は必ず対応すること！不備が解消されない
と不採用となり得ます。

申込をしたスカラネットで12月下旬に結果が表示される予定ですので、確認してください。
大学からは、令和8年1月中旬に学生メールで通知文書の配付方法について連絡します。

日本学生支援機構での審査状況により、12月中に結果が判明しないこともあります。
その場合は結果通知の時期が遅れ、令和8年3月下旬～4月となる場合があります。

申込後の流れ(2)

大学院入学

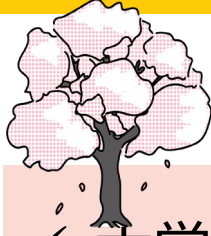
進学届提出



奨学金の振込

採用書類の配付

返還誓約書の提出



- ✓ 大学院進学後、「スカラネット」で「進学届」を提出(入力)します。
- ✓ 「大学院奨学生採用候補者決定通知(進学先提出用)」の用紙は大学へ提出します。
- ✓ 進学届の入力時期によって奨学金の振込月が変わります。
(具体的な日程については令和8年4月に案内予定です)

「奨学生証」「返還誓約書」等を大学から配付します。

指定された期日までに返還誓約書(署名や押印が必要)と添付書類を大学へ提出していただきます。未提出の場合は採用を取り消します。

問合せ先

申込み手続きでわからないことがある場合は、早めに学生支援チームへ相談してください。

平日 9時～17時
総合研究棟Ⅱ 1階
学生支援チーム①番窓口

メールアドレス: menjyosyogaku@ab.mie-u.ac.jp
※メールでの問合せの際は、学籍番号と氏名を必ず記載すること

電話: 059-231-9061・9854